



竜の砦（ドローン撮影）



東海館といで湯橋欄干と灯籠

## 伊東市の景観についての所感

皆様コロナ渦の中いかがお過ごしでしょうか？

私は何とか呼吸が可能ぐらいの状況ですが、コロナに罹患しているわけではありません！！が、文化庁の近現代建築物調査の静岡県分が、昨年度に終了し、ほっとしています。たぶん今年度でしたら調査は不可能だったでしょう。

さて平成30年に景観瓦版の原稿を担当させていただいて以来、2回目のお目見えになります。ご存じのとおり新型コロナの影響で建築士会の活動もほとんど休止していますので、今回は家の近所を徘徊し（けっしてアルツハイマーではない）市内の景観とそれに関する感想を書かせて頂くことにいたしました。



伊東駅の駅舎（昭和13年完成）

伊東駅の駅舎とロータリーのヤシの風景です。このヤシは伊東駅と同じ年齢ですが、数年後の駅前の再開発で伐採の憂き目にあうようです。毎年秋にはたくさんの実をつけるのです。この実の有効な利用方法を何か考えられないものかと、毎年秋になると思うのですが、冬になると忘れてしまいます。まあ私の存命のうちには再開発事業は完成しないと思うのですが。

右上の写真は、ご存じ東海館付近の風景です。橋の欄干は2～3年前に取り替えられ、昨年度に灯籠、今年度に竹あかりが付けられたように記憶しています。頭の古い私は欄干と灯籠は赤と考えてしまいますが、いかがでしょうか。又灯籠の火袋と足のアンバランスさに違和感を覚えるのは私だけでしょうか？



山喜旅館：撤去前の玄関唐破風とナマコ堀



木造3階建ての山喜旅館

山喜旅館の玄関唐破風とナマコ堀が道路拡幅のため、撤去されてしまいました。やはり玄関はその家の顔で、あるべきものが無いと寂しい気がします



秋花火

最後に少しでも伊東市のコマーシャル。夏に花火ができなかったので秋花火を実施しています詳しくは伊東市のホームページをご覧ください。芸者の御姉さま方も感染防止の工夫をして、皆様のお越しをお待ちしております。

石田充利（東部ブロックまちづくり委員）